

まつどしたぶんかきょうせい
松戸市 多文化 共生 ワークショップ In新松戸
じっしほうこくしょ
実施 報告書

1 ワークショップの目的について

日本人と外国人市民が多様な価値観を認め合い、ともに学び、ともに働き、ともに安心して暮らすことができる多文化共生社会の実現を目指すため、松戸市では、令和5年（2023年）2月に「松戸市多文化共生のまち推進指針」を策定しました。

令和5年度は、策定した「松戸市多文化共生のまち推進指針」の周知や多文化共生を身近に感じてもらうことを目的とした多文化共生講演会を実施するほか、市内において比較的外国人市民が多く住んでいる地域に足を運び、地域の困りごとや課題を抽出し、その課題解決のためのヒントやアイデアを模索するためにワークショップを開催するものです。

2 概要について

開催日時

<第1回>

令和5年（2023年）8月23日（水）

14:00～16:00

<第2回>

令和5年（2023年）10月27日（金）

13:30～16:30

開催場所

新松戸市民センター第2会議室

対象者

新松戸地区 在住・在学・在勤の日本人市民、外国人市民

周知方法

新松戸市民センター内 掲示板での周知

新松戸地区 町会・自治会内の掲示板での周知

国際推進課 SNSでの周知

3 ワークショップの内容について

< 第1回 >

日時 令和5年（2023年）8月23日（水）14:00～16:00

場所 新松戸市民センター第2会議室

参加者 15名 日本人市民11名

外国人市民 4名（国籍：中国、ロシア）

内容 ①松戸市における多文化共生について

松戸市国際推進課による、松戸市における外国人市民の現状、多文化共生施策の取り組み状況について説明を行いました。

②多文化共生ワークショップ

参加者を3つのグループに分け、それぞれのグループ内で提示した3つテーマについて自由に対話を行い、その後それぞれのグループで出た意見の発表を行いました。

ワークショップで出た意見について、その一部を抜粋して記載します。

【テーマ1】多文化共生に対してどんなイメージを持っていますか。

- ・「多文化共生」という言葉に対して、何となくわかるけど、とても硬い行政的なイメージを感じてしまう。
- ・お互いの違いを認め合えるような関係が作れるといいと思う。
- ・それぞれの国の文化を尊重するのが大切であると思う。
- ・ゴミ捨ての問題が特にイメージでき、翻訳された資料を見せても簡単には解決できない場合があると思う。
- ・「交流」+「協力」の要素が大切であると思う。

【テーマ2】「防災」というとどんなイメージを持っていますか。

- ・災害には色々な種類があり、住んでいる地域によって気にすべき災害は異なる。
- ・災害時には携帯電話などの電子機器が使用できなくなることを思うと、不安である。
- ・国によっては被災した経験がないことや、そもそも災害が存在しないこともある。

【テーマ3】

「多文化共生」×「防災」を推進するためにどんなことをすればよいとおもいますか。

- ・災害の種類や災害を体験できる機会（起震車など）を作れるとよいのではないかと。
- ・多言語での情報提供も大切であるが、すべての言語に対応することは難しいため、「やさしい日本語」の活用が大事であると思う。
- ・日頃からコミュニケーションを取り関係を構築していると、災害時でも協力関係が築ける可能性が強いのではないかと。

だい かい
<第2回>

にち じ 令和 5年 (2023年) 10月 27日 (金) 13:30~16:30

ば しょ しんまつどしみん だい かいぎしつ
場 所 新松戸 市民 センター 第2 会議室

さんかしゃ めい にほんじんしみん めい
参加者 18名 日本人 市民 13名

がいこくじんしみん めい こくせき ちゅうごく かんこく
外国人 市民 5名 (国籍: 中国、韓国、アメリカ)

ない よう まつどし たぶんかきょうせい
内 容 ①松戸市 における 多文化 共生 について

まつどしこくさいすいしんか まつどし がいこくじんしみん げんじょう た
松戸市 国際 推進課 による、松戸市 における 外国人 市民 の 現状、多
ぶんかきょうせいしさく と く じょうきょう せつめい おこな
文化 共生 施策 の 取り組み 状況 について 説明 を 行いました。

たぶんかきょうせいこうえんかい
②多文化 共生 講演会

メディアなどで ご活躍 の 漫画家、タレントの「星野ルネ」氏 を お招き
し、自身 の 生立ち を 漫画 にした「アフリカ 少年 が 日本で 育った 結果」
をもとに 多文化 共生 についての 講演会 を 行いました。

たぶんかきょうせい
③多文化 共生 ワークショップ

さんかしゃ を 4つのグループに 分け、それぞれのグループ内 で 提示 した
2つのテーマについて 自由に 対話 を 行い、その後 それぞれのグループで
出た 意見 の 発表 を 行いました。

ワークショップで 出た 意見 について、その 一部 を 抜粋 して 記載 します。

こうえんかい かんそう かん
【テーマ1】講演会 の 感想 (感じた ことなど) について。

- しゅっしんこく ひと み きょうかん
・ 出身 国 の イメージで 人は 見られて しまう ことに 共感 した。
- ひと あいて み たいせつ
・ 人 を イメージではなく 相手 として しっかりと 見る ことが 大切 であると
おも
思 う。
- びやうどう かんが ないよう
・ 平等 とは なにか 考え させられる 内容 であつた。
- ちが いみ き
・ 「みんな 違って みんな いい」と 良好 な 意味 で 聞く ことは あるが、それぞれ
の 国 の 文化 や 習慣 などが 異なる ため、簡単 には 理解 することが 難しい
ことを 改めて 実感 した。

【テーマ2】多文化共生の推進のために必要なことは何だと思いますか。

- ・日本人と外国人が交流できる機会をつくる。
 - 一緒に遊ぶ体験や食事、文化や習慣を学び合える機会があればよい。
 - 駅前に交流ができる場などがあるとよい。

- ・子どもに向けた取り組みがあるとよい。
 - 学校の教育の中で外国人も日本人も平等であると感じることができるとよい。
 - 学校の中で、外国人と交流できる機会があるとよい。

- ・外国人が定期的に生活上の困りごとを相談できる場所があるとよい。

- ・地域の町会・自治会に参加する機会があるとよい。
 - 外国人にとっても参加の入口（方法）や、参加のメリットなどが分かりやすく届けられたらよい。
 - 町会・自治会側も外国人を受け入れる体制づくりや、受け入れに対する積極性があるとよい。
 - お祭りなどのイベントが交流のきっかけとなる可能性が高いことから、運営する側に外国人を取り込めるような対応が必要であると思う。

4 かいさいちゆう ようす しゃしん 開催中の様子 (写真)

